

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 就労継続支援B型事業所 ほとほら授産所

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 Tel/fax 024-575-4355

2月の主な行事

- 2月 1日(土) 土曜利用日
- 3日(月) 節分のつどい
- 7日(金) 1月分工賃支給日

2月誕生月のみなさんおめでとうございます

佐藤利彦さん 小林陽平さん 岩崎真由美さん 佐藤瞬さん

誕生月おめでとうございます。誕生会は3月生まれの皆さんといっしょに3月7日(金)に行いますお楽しみに

令和7年の新春と新二十歳を祝う

ほとほら授産所新年と二十歳を祝う会開催



乾杯の発声をする鈴木さん

御礼の言葉を述べる大橋さん⑤

新年1月10日に、ほとほら授産所の「新年と二十歳を祝う会」を食堂休憩室で行いました。午前の作業を早めに済ませ、お昼の時間に行いました。開会のことばを当日の週番長大橋治子さんが務め、中木所長から授産所の皆さんが元気にお正月を迎えることができよかったこと、お正月のお飾りやおせち料理の意味を交え、新年を迎えたお祝いの言葉と、今年度二十歳になられた大橋千晴さんへ「新二十歳おめでとうございます。権利と義務を果たされ立派な社会人になってください」と、お祝いとはなむけの言葉がありました。

つづいて新年を祝い♪「一月一日」と、二十歳のはなむけの歌として♪「若者たち」をみんなで歌い、新成人の大橋千晴さんから「これから社会人としてほとほら授産所で頑張って、立派な大人になります。」と、誓いの言葉を述べました。来賓としてご出席いただいたお母様からも御礼の言葉がありました。記念品贈呈では、新二十歳を祝って、大橋さんに授産所から記念



花束を受け取る大橋さん㊦

品、利用者と職員からお祝いメッセージの寄せ書きと花束が贈られました。

会食の時間では、鈴木良子さんの乾杯の発声で、お寿司、温麺、飲み物をいただきました。

会の結びは、この日の副週番長の佐藤静香さんが閉会のことばを述べました。

この日は昨年同様、新成人利用者さんの保護者様をお招きし、みんなでお昼の食事をいただき、お正月と新二十歳利用者を祝う有意義な集いとなりました。



新年と新二十歳を祝ってお寿司をいただく利用者さんたち



美味しそうにいただく利用者さんたち
(写真上下)

新二十歳インタビュー

二十歳になられた大橋千晴さんに、感想やこれからやってみたいことや夢など、「新二十歳インタビュー」をしました。



大橋千晴さん

成人になった感想

大人になった気はまだしませんが、だんだんと気持ち的にも大人になるのかなと思います。

今やってみたいこと・これから挑戦したいこと

たくさん仕事を覚えて、みんなに負けないようにしたいです。

10年後の自分

今とそんなに気持ちは変わっていないと思います。

将来の夢は何ですか

お花屋さん。花に水をやるのが好きだから

授産所の皆さんにひとこと

いつもありがとうございます。

育てていただいた親さんにひとこと

今まで見守ってくれてありがとうございます。

保護者さんから千晴さんへはなむけの言葉

千晴ちゃんへ

二十歳の成人、本当におめでとう。

小さく生まれた千晴ちゃんは、こんなに大きくなってお母さんはビックリだよ。

小さい時は、兄弟たちとけんかも多かったけど、少しずつ大人になって来ていたんだネ。これからは笑顔を毎日忘れないようにネ。

これから先、大変な時もあるかも知れないけど、少しずつ走って行ってくれたらうれしいよ。

これからの成長を家族みんなで見守っているからネ。がんばってネ。ファイト！

お母様とツーショット
大橋巨祐・悦子



保護者さんから授産所の皆様へ御礼の言葉

ほどはら授産所の皆様へ

毎日お仕事お疲れ様です。

先日は「新年と成人を祝う会」にお招きいただき、本当にありがとうございました。

みなさんの明るい歌声や、あたたかいお料理、そしてお祝いのプレゼントやお花をいただき、親子共々楽しい一日を過ごすことができ、とてもうれしかったです。

本当にありがとうございました。

これから先、大変な時もあるかも知れませんが、みなさんの力を合わせれば大きな一歩になると思います。無理せず、体調に気をつけながら毎日の仕事頑張ってください。応援しています。

大橋巨祐・悦子

初仕事！ 各作業班就労開始！



緩衝材製作作業をする段ボール班の皆さん



フルーツキャップ折りをする手工芸班の皆さん



介護ベッドの手すりの洗浄をするリサイクル班の皆さん



ポットを再利用するため、きれいに磨く農耕園芸班の皆さん

1月6日、朝の会の前に仕事始めの式を行い、中木理事長兼所長から訓示がありました。そして、朝の会終了後、各班に分かれ、年の初めの仕事に取り掛かりました。

経済に左右され、物価高、受注減も予想されるなかではありますが、利用者の皆さんは「一年の計は仕事始めの日にあり」の合言葉で、頑張って仕事に取り組んでいました。

今年度最終回の食育コラムです。今回は年に4回ある節分のなかで、一番なじみのある春を迎える「節分」にちなんだお話を書いていただきました。株式会社メフォス福島 宍戸係長さんには毎回タイムリーな話題、ありがとうございました。



株式会社メフォス 福島事業部
福島事務所 3課3係
係長 宍戸 和江

新しい年を迎えてあっという間に1ヶ月たちました。まだまだ寒さが厳しく、お布団から出るのも勇気がいります。夏ばかりではなく、乾燥するこの時期もしっかり水分補給を心がけましょう。

2025年の節分は、
2月2日 です



節分とは、名前の通り「季節を分ける」日であり、立春の前日のことを指します。

節分は、2月3日のイメージが強いかもしれませんが、節分は固定日ではなく国立天文台が観測・計算して発表します。今年は、2021年以来の2月2日が節分です。

節分に食べるもの

節分に食べる縁起のよい食材、食べ物7つをご紹介します。

- 鬼を追い払う「いわし」
- 体内をきれいにする「こんにゃく」
- 健康を願う「大豆」
- 料理で幸せを願う「くじら」
- 長寿を願う「そば」
- 厄を払う「ぜんざい」
- 願い事をしながら食べる「恵方巻」

＜恵方巻の食べ方ルール＞

- ① 恵方巻を1本用意する
- ② 恵方を向く(今年は、西南西)
- ③ 願いごとをしながら、しゃべらず食べる

どの鬼を退治する？



豆まきをして無病息災を祈りますが、欠かせないのが鬼の存在です。

鬼の色は人間の煩惱を象徴しているそうです。退治したい「鬼」をめがけて豆まきをしましょう。

野菜を

食べやすくする方法

こどもの好き嫌いによく挙げられる「野菜」を食べやすくする方法をご紹介します。

野菜の繊維を断つように小さく切ったり、ゆでることで苦味や臭みが溶け出ます。またハムやかたお節などのうまみ成分の強い食材と組み合わせることで、味わいが深くなります。フライや天ぷらにすることで、苦味をコーティングするのも効果的です。初めての食べ物は、少しずつ始めることも大切です。

編集後記 / 新年を迎えたと思ったら1か月が経過、早いもので今日から2月に。2月は「如月」きさらぎ 着物をさらに着込むといわれるほど、1年で一番寒い時期となりました。夕方の日没時刻が伸び、朝は日の出も少しずつ早くなってきました。春がそこまで来ていますが節分までは大寒です。寒い日がまだまだ続きますので、お体ご自愛のうえお過ごしください▼このたびは、千晴さん新二十歳おめでとうございました。ほどはら授産所にこの前通い始まったと思ったら、あっという間に二年たったんですね。大人としての自覚を持ち、立派な人間になってほしいと思います▼食育コラムに原稿をお寄せいただいた歴代メフォスご担当者の佐藤久美さん、宍戸和江さんに感謝申し上げます。本号をもってメフォス様の食育コラムは最終回になります。どうもありがとうございました。(M)